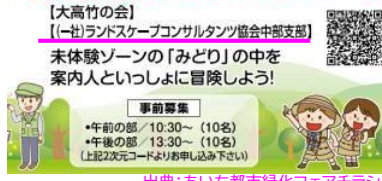


「あいち都市緑化フェア共同出展」報告

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部では、第 38 回あいち都市緑化フェア(愛知県主催)に、地元の緑化ボランティア団体「大高竹の会」との共同で自然体験プログラム「猪根の森体感ツアー」を出展しました。

● 大高緑地「猪根の森 体感ツアー」
[大高竹の会]
【(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部】
未体験ゾーン「みどり」の中を
案内人と一緒に冒険しよう!



事前募集
・午前の部 / 10:30～ (10名)
・午後の部 / 13:30～ (10名)
(上記2次元コードよりお申し込み下さい)

出典:あいち都市緑化フェアチラシ

出展行事名: 『みどり』のお勉強～フィールドプログラム～ 大高緑地「猪根の森 体感ツアー」

開催日時: 令和8年4月29日(水・祝)
午前10:30～(60分) 午後13:30～(60分)

場所: 大高緑地 若草山芝生広場本部(受付)、猪根の森(対象地)

参加者: 午前12名 午後18名

スタッフ: 29名 大高竹の会: 20名

CLA 中部支部: 9名

吉田顧問、則竹支部長、小林副支部長、河代表幹事
風間幹事、吉川幹事、串田幹事、浅野幹事、岩田幹事

実施概要:

大高緑地「猪根の森 体感ツアー」は、大高竹の会のメンバーが活動している森を案内する約1時間の体験プログラムです。「猪根の森」は、大高緑地の竹藪の環境改善に取り組むボランティア団体「大高竹の会」が、愛知県および公園管理事務所のサポートを受け、多様性のある自然の森づくりを目指し、県民協働で取組まれている森です。

開催当日は、曇天での開催となりました。当協会はツアーに同行し、ガイドのサポート役として、森に生育している樹木の説明などを行いました。



午前のプログラムは12名、午後のプログラムは18名で、合計30名の参加者がありました。

大高竹の会から大高緑地の歴史、活動開始前の竹が繁茂する森の状態、竹の伐採や森づくりの手法などの説明を受け、名古屋市最大級のヤマモモや森のシンボルであるヤマザクラの巨木などを見学しました。また、コナラ林再生区やモウソウチク林再生区などでも、再生活動当時の苦労したことなど貴重な話が聞けました。

参加者にはリピータの方がおり、「今年も楽しく歩けた」、「大高緑地の歴史や植生について勉強することが出来た」、「樹木について楽しく知ることができた」、「節の数でマダケとモウソウダケの違いがわかった」などの声がありました。このような参加者の声は、プログラムを実施した大高竹の会や当協会へ大変な励みとなります。

